

防災よこすか

第 69 号



写真提供:横須賀写真ライフライン

「うみかぜの路」

JR 横須賀駅から平成町、馬堀海岸を経て走水のボードウォーク・観音崎へ続く約 10km の海辺の散歩道を「うみかぜの路」といいます。市民の意見を参考に、平成 13 年に決定した愛称です。

各所から見る東京湾の眺望は素晴らしく、猿島や、横浜のランドマーク、ベイブリッジ、アクアラインや房総半島が間近に見られます。

馬堀海岸には 3 列に並ぶフェニックスヤシの緑陰道路や市民によるアートペイントの堤防があり、高潮対策としては国内初の面的防護による護岸が造成されています。

会長あいさつ

横須賀危険物安全協会

会長 渡辺 晴夫



横須賀危険物安全協会会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。日頃は協会運営並びに危険物保安活動にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、ここ最近の出来事を顧みますと、世界陸上ロンドン大会の男子400mリレーで、日本チームが昨年のリオデジャネイロオリンピックに続きメダルを獲得するなど嬉しいニュースがあった一方、北朝鮮から弾道ミサイルが相次いで発射され、国内各地で強い毒を持つ「ヒアリ」が確認されるなど、海外からのかつてない「脅威」が連日報道され、私たちの生活を脅かしています。

そして、災害としては、国内では九州北部地方で記録的な豪雨が発生し、海外では、中国四川省の世界遺産「九寨溝」付近での地震などの自然災害により、多くの尊い人命と貴重な財産が失われるなど甚大な被害が発生しています。

また、危険物施設ではセルフサービス方式の給油取扱所において、危険物の供給・停止用の制御装置を危険物取扱者の監視なしに自動的に解除していた事例がマスコミで大きく取り上げられました。

セルフサービス方式の給油取扱所では、危険物取扱者は、顧客が静電気除去シートに触れようとせず給油キャップを開けようとする場合などの注意指示や、万一火災が発生した場合に、固定泡消火設備の起動ボタンを押して火災の拡大防止をしなければなりません。

危険物施設では危険物取扱者本人、及びその監視のもとに危険物を取扱うことが安全対策上、最も重要で基本的なことであり、この基本的な安全対策が崩れれば、事故の未然防止や災害時の初動対応ができません。

今回のこの事例を一つの教訓として、我々は法令遵守に今後も取り組みたいと思います。

幸いにも本市においては、会員事業所の皆様のおかげをもちまして、危険物関連の重大事故は発生していません。皆様におかれましては、今後も「危険物災害の防止」のため、引き続き御協力をお願い申し上げます。

結びに、会員皆様方の益々のご多幸とご健勝を心から祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

全国危険物安全協会理事長表彰

平成 29 年 6 月 5 日 (月) 東京都千代田区の「ルポール麹町」において開催されました総務省消防庁主催「危険物安全大会」の席上において、当協会の元常任幹事であり、高士 了 様が永年の功績を称えられ、全国危険物安全協会理事長から表彰されました。



高士 了 様

神奈川県危険物安全協会連合会会長表彰

去る平成 29 年 6 月 19 日 (月)、横浜市中区の「神奈川労働プラザ」で開催されました一般社団法人神奈川県危険物安全協会連合会の表彰式において、当協会の皆様が一般社団法人神奈川県危険物安全協会連合会会長から次のとおり表彰されました。

安全功労 危険物防災思想の普及と災害防止功労

- ★社会福祉法人湘南福祉協会
総合病院 湘南病院 菅原 茂樹 様
- ★湘南菱油株式会社 岸本 光之 様

優良危険物事業所

- ★株式会社セントラルホテル 様

優良事業所

- ★日本和紡興業株式会社 様
- ★湘南信用金庫 様



表彰者全員で記念撮影

(左から 日本和紡興業(株) 脊山様、湘南信用金庫 馬越様、(株)セントラルホテル 倉島様、湘南菱油(株) 岸本様、総合病院湘南病院 菅原様)

受賞の謝辞

神奈川県危険物安全協会連合会会長表彰をうけて
日本和紡興業株式会社 代表取締役 脊山幹生

この度、防災思想の普及高揚ならびに地域の防災に関し、過大な評価をいただき神奈川県危険物安全協会連合会会長表彰を受賞したことは、大変名誉なことと喜ぶとともに、日頃からの横須賀市消防局、横須賀危険物安全協会の皆様のご指導による事と厚く感謝申し上げます。

弊社は横須賀北部の追浜工業地区に、終戦後の 1947 年に旧海軍工廠跡地を使用して創業いたしました。現在は、近隣企業様の工場で使用される部品の供給と保管を中心とする倉庫業を営んでおりますが、長年にわたり営業してこれましたのも、地域の皆様に支えられてのことと深く感謝しております。

今回の受賞を機に、今後もより一層、防災に関して注意を払い安全確保に努めてまいります。今後とも関係各位の皆様からのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

第52回定例総会開催



去る平成29年5月17日（水）、よこすか平安閣5階「バルセロナ」において、多数の出席者のもと横須賀危険物安全協会第52回定例総会が開催されました。

総会次第に従い、会長の挨拶の後、早速議事に入りました。まず、第1号議案の平成28年度事業経過報告、第2号議案の平成28年度収支決算報告、及び会計監査について審議・報告が行われ、原案のとおり承認されました。続いて第3号議案の平成29年度事業計画、及び第4号議案の平成29年度収支予算について審議が行われ、原案のとおり承認されました。最後は会長の閉会の言葉で無事に終了しました。

平成29年度事業計画には、火災予防事業として防火ポスターの購入・配布、消防局が主催する行事への協力、講習会として危険物取扱者試験受験のための準備講習会の開催、調査・研究として視察研修の実施及び危険物に関する講演会の参加、年2回の機関紙の発行、その他協会の目的を達成するために必要な事業として表彰や慶弔などが挙げられています。

また、今年度の新規事業として、保安セミナーと救命講習の開催も計画されました。

総会後には例年通り懇親会が行われ、和やかなうちに終了いたしました。ご多忙のところ大変多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。

危険物安全週間



6月4日から6月10日まで、全国一斉に「危険物安全週間」が実施されました。

当協会では、各会員事業所が保安教育や自主点検、地震・津波対策の確認などを実施し、危険物保安活動に取り組みました。

また、東邦化学工業株式会社追浜工場では危険物を起因とする火災を想定した消防訓練が実施されました。

危険物保安セミナー

今年度の新規事業としまして、7月5日（水）、横須賀市立勤労福祉会館（ヴェルクよこすか）6階第1会議室にて、危険物保安セミナーを開催いたしました。当日は消防局予防課危険物係の職員の方々に講師を依頼し、約2時間半の講習が行われました。

今回のセミナーには三浦危険物安全協会の会員事業所様にも参加を呼び掛け、三浦危険物安全協会から10名、横須賀危険物安全協会から42名、合計52名が受講しました。

なお、当日の講習内容は以下のとおりです。

- ① 震災時の危険物施設における対応及び臨時的な危険物の貯蔵・取扱いについて
- ② 定期点検の重要性及び事事故事例とその対策
- ③ 危険物の貯蔵・取扱いにおける質疑応答（危険物運搬容器等）



保安セミナー当日の様子

幼児防火教室



この活動は、地域防火広報の一環として消防職員や女性消防団員が地域の幼稚園・保育園を訪問し、園児に防火紙芝居や防火教育用DVDなどにより防火教育を行うものです。

当協会では、園児に折り紙や消しゴム、シャボン玉等の記念品を贈り、この活動を支援しています。

危険物関連トピックス

震災時等における

危険物の仮貯蔵・仮取扱い等の

安全対策及び手続について

《横須賀市消防局》

危険物の仮貯蔵・仮取扱いって・・・???

ガソリンなどの危険物は、許可を受けた施設以外では指定数量以上（例：ガソリン 200 リットル、軽油・灯油 1000 リットル）の貯蔵・取扱いが禁じられています。

ただし、事前に消防長の承認を受ければ、10日以内の期間で仮に貯蔵・取扱うことができます。

※根拠法令：消防法第10条第1項ただし書



過去に発生した大規模地震

において被災地では・・・

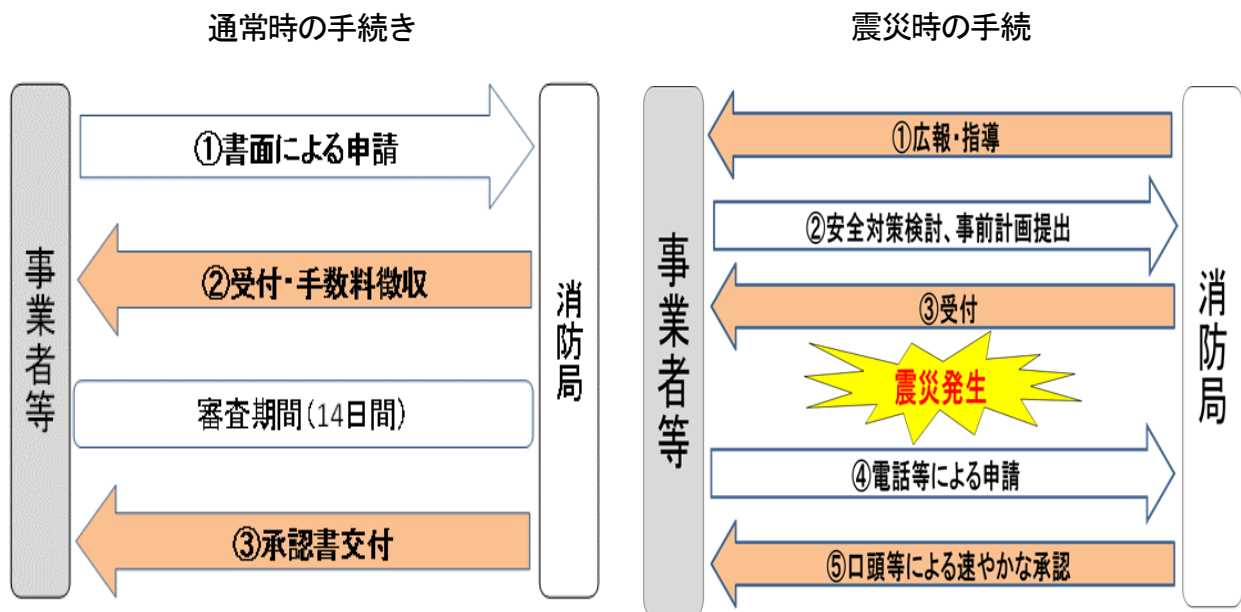
避難所や災害対応拠点などの危険物施設以外の場所で、ドラム缶からの手動ポンプを用いた給油行為や、一時的に暖房用の燃料を貯蔵するなど、臨時的に指定数量以上の危険物を貯蔵・取扱う仮貯蔵・仮取扱いが数多く行われました。

実際に被災地で行われていた事例

- ドラム缶等による燃料の貯蔵・手動ポンプでの給油（右写真参照）
- タンクや機器等からの危険物の抜き取り
- 移動タンク貯蔵所等による重機等への給油
・・・など



震災時の仮貯蔵・仮取扱い制度の概要



震災時において臨時的に指定数量以上の危険物を貯蔵し、又は取り扱うことが想定される場合は、必要な安全対策や資機材について事前に消防局と協議し、**実施計画書**を提出しておくことで申請から承認までの期間が大幅に短縮されます。

危険物施設での臨時的な貯蔵・取扱いについて

震災時等に危険物施設において、設備等の故障に備えてあらかじめ準備された代替機器を使用する計画がある場合、又は停電に備えて非常用電源及び手動機器を使用する計画がある場合は、事前に届出等を行うことで、仮貯蔵・仮取扱いを必要としない場合があります。

詳しくは下記の消防局予防課危険物係までお問い合わせください。

《事例》

ガソリンスタンドにおける給油継続のための緊急用発電機、可搬式給油ポンプの設置



非常用発電機



可搬式給油ポンプ

危険物に関するお問い合わせ

横須賀市消防局予防課危険物係 046-821-6469

協会員だより

社会福祉法人 阿部睦会
養護老人ホーム 共楽荘
施設長 阿部 吉朗



J R 横須賀線衣笠駅から徒歩 15 分ほどの場所にある阿部睦会は、大正末期に婦女子のための就労場であった日の出授産所(縫製所)がルーツの社会福祉法人です。現在では、横須賀市内、横浜市金沢区、三浦市初声町で高齢者福祉事業(特別養護老人ホーム、デイサービス、訪問介護、居宅介護支援事業所等)、保育園を展開しております。(詳細はHP)

養護老人ホーム共楽荘は、特別養護老人ホームとは異なり、比較のお元気な 65 歳以上の高齢者で住民税非課税の方が対象の入居施設です。入居希望者はご自身の住所のある市町村に問い合わせをし、必要があればお申し込みすることができる老人ホームです。

養護老人ホーム共楽荘では、お一人おひとりが自分らしく暮らすために必要なことをサポート致しておりますが、ご入居者の安心・安全を守ることはその最たるものです。特定防火対象物(消防法施行令別表 1 第(6)項-ロ)としてより厳格な防火管理体制が求められるので、消防計画に基づき火災予防対策を図るとともに非常災害時に職員一人ひとりが迅速で確実な初期行動がとれるよう年間計画を立て、月に 1 度、防災訓練を実施しています。

また、消防機関等が主催する各種講習会にも積極的に職員を参加させ、非常時への備えについての知識と技術を消防専門職より学び防火管理体制の強化に取り組んでおります。

これからも地域に信頼され親しまれる施設として地域防災に努めたく、横須賀市消防局、横須賀危険物安全協会の皆様からご指導を賜りますようお願い申し上げます。



協会員だより

京浜ドック株式会社

代表取締役社長 庄司 勉



会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

弊社は小型船舶の修繕事業を行う会社として、横浜市神奈川区守屋町の地に1968年日本郵船株式会社の出資により設立されました。その後、1971年に小型鋼船造船業の登録を行い、各種曳船および作業船等の建造分野に進出、さらに1972年には公害防止、

環境衛生、省エネルギーおよび物流に関連する諸装置の製作および販売を目的とした部門を設け、業容の拡大を行って参りましたが、2003年には横須賀市浦郷町のこの地で操業していた旧相模造船鉄工の資産を買収し、当社追浜工場として主にタグボートの新造船建造および船舶修繕事業の拡大を図り約15年になります。

近年では厳しくなりつつある港湾内での船舶からの排気ガス規制に対応する研究開発を進め、株主である日本郵船株式会社及び日本海事協会他関係者のご支援、ご協力のもと2013年3月国内初の「ハイブリッド推進装置」を搭載したタグボートを建造・引渡し、また2015年8月には、国内初、世界でも稀な「LNG燃料タグボート」の建造・引渡しを行っており、「環境にやさしい船」の研究開発を継続し、社会に貢献して参りたいと考えております。

今後も品質、安全を第一に最善を尽くす所存でございますので、横須賀市消防局、各消防署、横須賀危険物安全協会の皆様からのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



協会員だより

株式会社 協同牛乳
取締役社長 鈴木 悟

弊社は、昭和 36 年に当時三浦半島の酪農生産者が集まった「横須賀酪農協同組合」の牛乳製造工場を引き継ぎ、先代が「有限会社協同牛乳」として津久井浜に設立しました。

創業以来、牛乳を通じ皆様の健康づくりを目標に事業を進めてまいり、平成 9 年には現在の森崎に本



社・工場を移転し、平成 18 年に株式会社に組織変更し現在に至っています。この間、商品の品質管理の徹底をめざし「ESL 製造」に転換し、工場全般の衛生管理を目的に HACCP の認証を取得しております。また、工場全般の維持管理については、行政当局のご指導の基「消防法令・建築法令」を積極的に遵守して推進しております。これらの取り組みを通じ、弊社の企業理念であります「おいしさ、新鮮さ、そして皆様の健康づくりの 3 つをお届けするため、徹底した品質管理、迅速な配送システムのもと、安心して安全な製品づくり」を追求し、現在では、横須賀市・三浦市の小中学校、自衛隊、防衛大学校を始め、神奈川県の小売店や SM チェーンはもとより、広域量販店や東京のベンダーを通じ、千葉、東京、埼玉、静岡まで弊社商品が広がっています。

今後につきましても、大自然の恵みをいっぱいにくれた、搾りたての良質な生乳の風味を大切に、少しでも早く皆様のおてもとに、今後かわることなく、皆様に愛される、高品質な牛乳を作り続けていきます。末尾になりますが、横須賀市消防局を始め皆様のご援助に感謝申し上げますと共に、安全協会のますますの発展と会員皆様のご健勝を祈念申し上げます。



協会員だより

サカエ株式会社
代表取締役 田代 光司

会員の皆様におかれましては、ますますのご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご厚誼を賜り心から御礼申し上げます。

弊社は、昭和 31 年 6 月シエル石油株式会社の特約店



として、横須賀市西浦賀にて石油類の販売を開始し、同年 8 月から約 30 年ほどタンカー等船舶の建造事業に努めて参りました。その後、平成 8 年 3 月において海上輸送業を撤退し、現在は田浦港ヶ丘を拠点として石油類販売を中心として営業を行っております。

防災におきましては、平成 26 年 5 月に災害時における燃料補給設備として発電機を設置、停電時の対応として地下タンク 50 キロを常に満杯にし、発電機は、毎月必ず定期的に 1 時間程度エンジンを掛け、エンジン不良等動作確認のメンテナンスを行っております。燃料においては定期的に入れ替えを行い、常に災害においては盤石の体制を整えております。



しかし、近未来に起こりうる大災害に備え、現状に慢心せず、自主訓練や点検を怠らずに、常時災害に対し配備を強固なものにしていきたいと考えております。

以上、これからも横須賀市消防局様、ならびに危険物安全協会様の皆様に感謝を申し上げますと共に、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

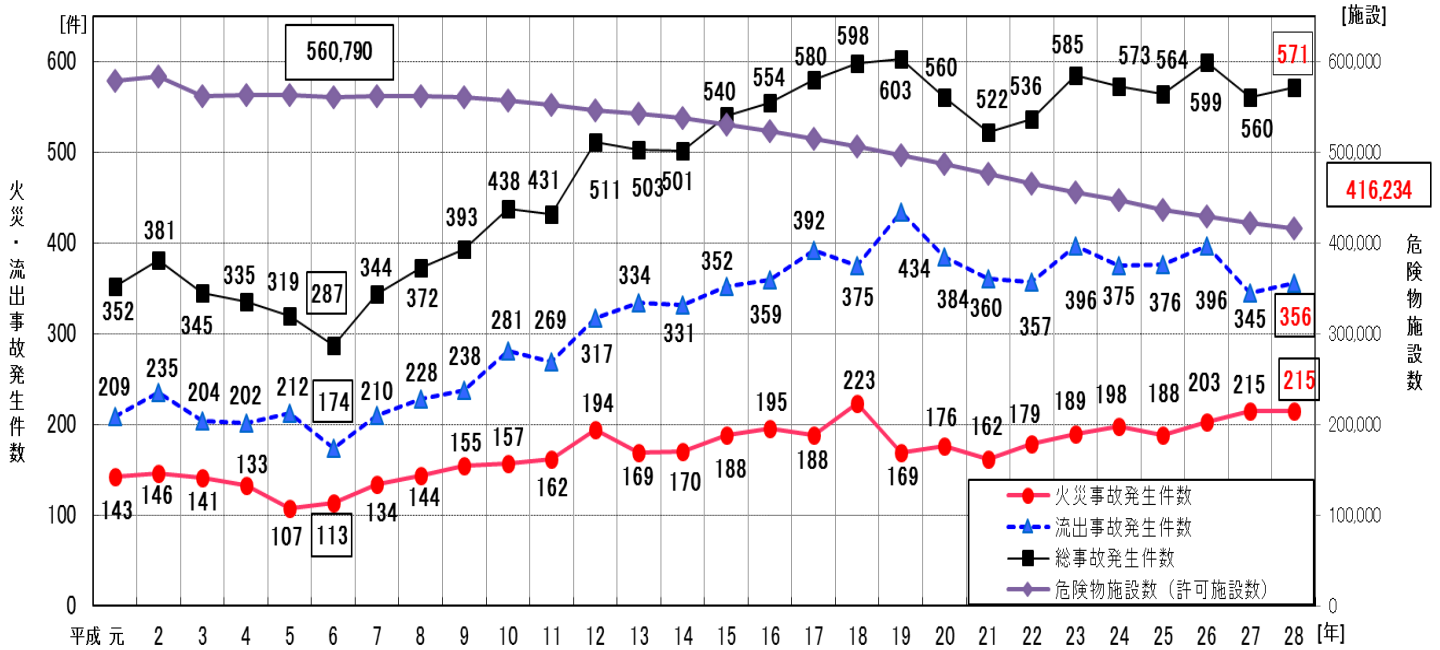
平成 29 年度危険物安全週間推進標語

あなたなら 無事故の着地 決められる

平成 29 年度全国統一防火標語

火の用心 ことばを形に 習慣に

危険物施設における火災及び流出事故発生件数の推移



※東日本大震災その他震度6弱以上（平成8年9月以前は震度6以上）の地震により発生した事故の件数を除く。
（資料提供 総務省消防庁）

～お知らせ～

- ◆ 平成 29 年度第3回危険物取扱者試験受験準備講習会
日 程 平成 30 年 1 月 14 日(日)
場 所 ヴェルクよこすか(横須賀市勤労福祉会館)
受付場所 横須賀市消防局予防課
横須賀市中央・北・南消防署
- ◆ 平成 29 年度第3回危険物取扱者試験
日 程 平成 30 年 1 月 28 日(日)
場 所 神奈川大学(予定)
受付期間
(電子申請)平成 29 年 11 月 24 日～平成 29 年 12 月 15 日
(書面申請)平成 29 年 11 月 27 日～平成 29 年 12 月 18 日
- ◆ (一社)神奈川県危険物安全協会連合会のホームページ
アドレス <http://www.sinkiren.sakura.ne.jp/>
内 容 危険物取扱者保安講習会の案内等



発行日 平成 29 年 10 月 10 日
 発行者 横須賀危険物安全協会
 会長 渡辺 晴夫
 横須賀市小川町 11 番地
 TEL 046 (821) 6476